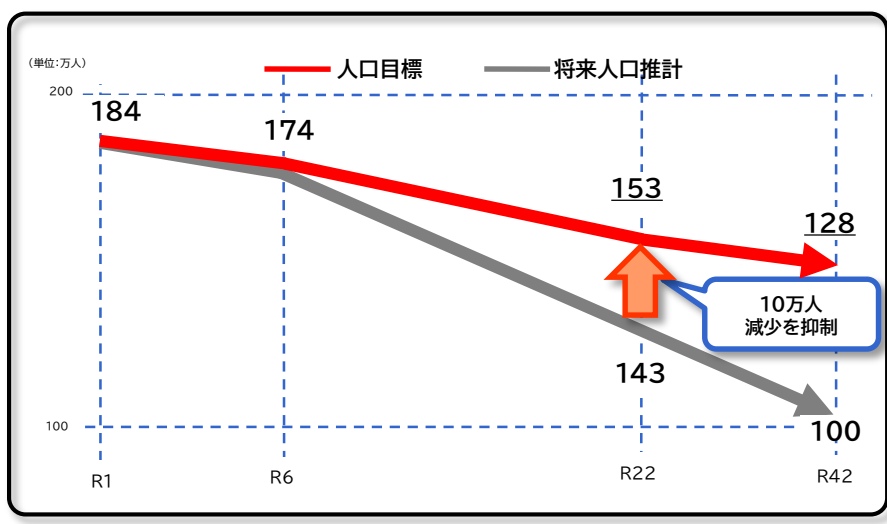


### 基本理念

「福島ならではの」地方創生の推進＝『復興・再生』と『地方創生』を両輪で推進  
 (「震災・原発事故」からの復興と「急激な人口減少の克服」という課題を先取りした本県として、真摯に課題解決を進めることで、国内外の社会的発展にも貢献していく)

- 【基本的な視点】
- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、県民一人ひとりの想いを大切に、挑戦を支える社会の実現
  - ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共創する社会の実現
  - ③ 「ふくしまの地」で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む“あこがれの連鎖”を生む社会の実現

### 福島県の将来人口推計と人口目標



令和22年に県総人口“150万人程度の維持”  
 ⇒5年後の令和6年に174万人を目指す！  
 (次期戦略の共通目標)

【前提条件】  
 出生率 令和22年に福島県民の希望出生率 2.11人を実現  
 移動率 令和12年に社会動態±ゼロを実現

- 【特徴】
1. 中長期目標に加え、5年後(令和6年度末)の人口目標を設定
  2. 施策が、人口減少抑制要因(①出生増、②死亡減、③転入増、④転出減)のどれに効果があるかを整理
  3. 県民の認識(満足度)を図る県民参考指標を設定(県民意識調査結果の活用)
  4. SDGs(持続可能な開発目標)の理念・目標を意識しながら取組を推進

### 復興・再生

まていの里のこども園 (提供: 飯館村)

- ・生徒と自治体や企業との接点の増加

高校生によるローン操縦体験

- ・本県の将来を担う高校生の学力向上

福島ロボットテストフィールド

- ・iバ 構想を基軸とした先端産業の集積
- ・企業の立地促進、ビジネス創出支援
- ・スマート農林水産業の推進(ICT、ロボット技術の開発・実証)

福島しろはとファーム(楡葉町)

まち・なみ・まるしえ

- ・生活交通の支援、医療提供体制の再構築
- ・再生可能エネルギーの普及拡大
- ・東日本大震災の教訓の継承、県民の防災意識の高揚

ふたば医療センター附属病院

Jヴィレッジ

- ・Jヴィレッジの利活用
- ・震災以降ご縁ができた団体との連携・共働
- ・避難解除地域等への新たな人の呼び込み(ホープツーリズムの推進)

※復興・再生の取組は復興財源等を活用して推進

### 地方創生(地域活性化+人口減少・少子高齢化対策)

基本目標1 一人ひとりが輝く社会をつくる(ひと)

【成果目標】  
 ■ 合計特殊出生率  
 ■ 健康寿命 (県民参考指標) 「県内で子育てしたい」と思っている人の割合

【基本的な考え方 ①、②】 出生 ↗ 死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

- 1 一人ひとりの希望をかなえる
- 2 健やかな暮らしを支える
- 3 地域を担う創造性豊かな人を育てる

基本目標2 魅力的で安定した仕事をつくる(しごと)

【主な成果目標】  
 ■ 安定的な雇用者数  
 ■ 製造品出荷額等 など (県民参考指標) 「県内に魅力ある企業がある」と思っている人の割合 など

【基本的な考え方 ①、②】 転入 ↗ 転出 ↘

- 1 活力ある地域産業を支え、育てる
- 2 魅力ある農林水産業を展開する
- 3 若者の定着・還流につなげる

基本目標3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる(暮らし)

【成果目標】  
 ■ 「住んでいる地域が住みやすい」と思っている人の割合 (県民参考指標) 「人と人との支え合いや絆を実感している人」の割合 など

【基本的な考え方 ①、②、③】 死亡 ↘ 転入 ↗ 転出 ↘

- 1 安全で安心な暮らしをつくる
- 2 ゆとりと潤いのある暮らしをつくる
- 3 環境に優しい暮らしをつくる

基本目標4 新たな人の流れをつくる(人の流れ)

【成果目標】  
 ■ 人口の社会増減  
 ■ 本県への移住世帯数 (県民参考指標) 「国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のものがある」と思っている人の割合

【基本的な考え方 ②、③】 転入 ↗ 転出 ↘

- 1 地域の多様な魅力を発信する
- 2 ふくしまへ新しい人の流れをつくる

- ・がん患者の支援など治療と仕事の両立
- ・助産師養成への支援
- ・ふくしま結婚・子育て応援センターの運営、ネットワークの構築
- ・保育の質の向上
- ・障がい者の社会参加の促進
- ・健康データの見える化等による健康づくり
- ・子どもの郷土への理解促進

子育て支援の充実

- ・経営力強化への支援
- ・ICT技術の活用による生産性向上(介護現場等)
- ・オリパラを契機とした県産品の魅力の発信
- ・起業・創業への伴走支援
- ・女性・高齢者等農林水産業の担い手確保
- ・鳥獣被害対策の強化
- ・インターンシップの拡充
- ・県内外の大学生に継続的に本県の企業情報を発信

農産物の高品質化

事業承継の支援

- ・過疎・中山間地域の地域公共交通の維持
- ・グリーン復興構想による自然公園の保全と利活用
- ・企業や団体と連携した子どもや高齢者の安全対策の強化
- ・まちなかの賑わいの創出
- ・ふくしまの地域密着型プロスポーツとの連携による活性化
- ・環境にやさしい生活のための携帯アプリの開発

豊かな自然の継承

バス路線の維持

提供: 新常磐交通(株)

- ・温泉・食など地域資源をいかした周遊につながる観光誘客の促進
- ・副業・兼業による地域で暮らすモデルの提示
- ・福島体験のため滞在住宅としての県営住宅の貸出し
- ・福島ならではの地域資源をいかした働き方・暮らし方の体験(チャレンジライフ)
- ・ふくしまで輝いている人にスポットを当てた情報発信

30歳の大同窓会